

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		渉外事務費 [庁議運営事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号	10	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	秘書広報		課	秘書		係	課長名	五十嵐 孝雄	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	理事者ならびに各部長職による審議調整が必要と思われる重要施策や、適正かつ円滑に執行する必要がある事務等 →			庁議に付議した案件数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	決定や執行にあたり、適切な時期に重職による判断が行える。 →			庁議に付議しなかったことにより、重大な遅延や失策等に至った事務や事業の件数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	原則として毎週水曜午前9時から401会議室にて、定例庁議を開催した。(東大和市議会定例会開会中を除く。) また、定例庁議に付議する暇がない緊急案件については、持ち回り庁議を適宜開催した。 →			庁議を開催した回数					
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	件	220	254	282			
	成果指標	②の数値	件	0	0	0			
	目 標	②の目標値	件	0	0	0	0	0	
		目標値設定の考え方 適切な庁議運営を行う。							
3 経費	事業費(実績)		円	17,300	19,318	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	17,300	19,318	0			
		特定財源	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.3			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0	0			
		職員人件費(再任用以外)	円	4,122,000	4,122,000	2,493,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	4,139,300	4,141,318	2,493,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度		S61 年度						
	(2) 環境の変化		庁議の結果については、平成22年8月(同年7月開催分)から市公式ホームページで公開している。また、開かれた市政の更なる推進を目的として、平成26年7月(同年6月開催分)より、庁議資料を市公式ホームページで公開するとともに、庁議結果及び庁議資料を市役所3階市政情報コーナーにおいて公開している。						

事業名称	渉外事務費 [庁議運営事務]			
担当部署・課長名	秘書広報課	秘書係	課長名	五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	この仕事に関する意見や要望はなかった。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑥
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：ホームページ、市政情報コーナー）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
	情報提供は、市民協働において重要な要素であることから、引き続き、適時・的確な情報提供に努めたい。	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	引き続き、適正な審議調整に努める。なお、持ち回り庁議の回数についてはH27年度以前の状況とまでには至っていないが、今後も増加傾向が続く場合は、H28年度に実施した庁内への注意喚起が再度必要になると思われる。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	各課への助言及び調整を行った結果、平成30年度実績比で微減となった。（平成30年度：15回→平成31年度：12回）	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	今後も各課と調整等を行い、付議案件は可能な限り定例庁議に付議する。	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現	
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止	
	【取組内容】	
	引き続き、付議案件については、可能な限り定例庁議に付議する。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
	付議案件を所管する各部署と連携を密に取り、必要な助言や調整を行う。	